

労働者の仕事と家庭生活の両立に資する「転勤に関する雇用管理のポイント（仮称）」の策定に向けて議論する事項（案）

1. 現状と課題

- 企業における転勤の実態
- 仕事と家庭生活の両立という観点からみた、転勤を取り巻く課題

2. 労働者の仕事と家庭生活の両立に資する観点からの転勤に関する雇用管理のポイント

- 転勤に関する雇用管理について踏まえるべき現行の制度等
- 雇用管理のポイントを考える際の視点

（例）

- ・ 転勤の目的・効果
- ・ 企業の雇用管理の多様性
- ・ 時間軸に関するもの（一定期間の見通し、変化への対応等）
- ・ 人に関するもの（納得感等）

○ 転勤に関する雇用管理のポイント

- ◇ 転勤に関する雇用管理を考える際の手順

（例）

- ・ 転勤（人事異動）に関する現状の把握
- ・ 目的の確認

- ◇ 雇用管理上のメニュー

（例：雇用管理のパターンごとのメニュー）

- 勤務地を限定しない場合
- 勤務地を限定する雇用区分を設ける場合
- その他（社内公募など）